



暮らしにお困りごとお気軽にご相談ください。080-4429-6338

2022年 北区議会第一回定例会報告

北区議会第一回定例会は、2022年2月22日から、新年度予算を審議する予算特別委員会などを経て3月23日に最終本会議をむかえました。新年度予算の主な事業や組み替え提案などのご報告をします。

新年度の北区予算は過去最大に

北区の新年度予算は、昨年度に引き続きコロナ禍のもとでの予算編成となりました。当初比で、特別区民税が約18億円増、特別区交付金が約69億円増など、歳入で大幅な増額となり、一般会計の予算規模は、前年度当初比で82億円増え、過去最大の約1622億円となりました。

予算化された主な事業から

コミュニティバス新規路線

2016年、民間バス路線が廃止となり、地域の足を求める住民運動が続けられ、12月より、浮間地域での試験運行費が予算化されました。



住民要望が実現！

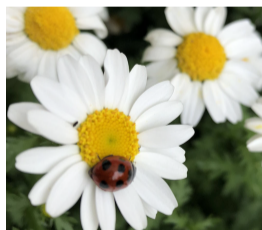
パートナーシップ宣誓制度開始

多様な性自認または性指向をもつ2人が互いを人生のパートナーとすることを北区として認める宣誓制度を4月から開始します。



女性の相談支援の拡充へ

電話や面談の他にLINE相談が追加になりました。福祉的支援への接続、生理用品の配布、アウトリーチによる支援も行います。(裏面にご案内あります、是非活用してください)



福祉・医療施設へ特別給付金

介護・障害福祉・児童等の福祉サービス施設、医療機関などへ区独自の特別給付金を支給。感染症対策や従事職員への慰労金にも充てられます。



新年度予算は、区民ニーズに沿ったものもある一方で、コロナ禍での、区民や事業者への支援が不十分な点やまちづくりの姿勢などから日本共産党北区議団は、一般会計予算に反対、また、国民健康保健事業会計も未就学児均等割り減額が盛り込まれましたが、値上げの影響などから反対しました。

日本共産党北区議団と新社会党の共同提案

暮らし応援の予算に！

日本共産党北区議員団と新社会党は3月23日の区議会最終本会議に「北区一般会計予算の組み替えを求める動議」を提出しました。総額は28億円その財源として、まちづくり基金から8億円、財政調整基金から20億円を活用する提案をしました。

残念ながら、自民、公明などの反対で動議は否決となりました。

予算組み替え提案

- 低所得世帯への臨時特別給付金 7.5億円
 - 全ての子ども対象の臨時特別給付金 10億円
 - 国保料18歳までの均等割り減額手当 8千万円
 - 学校給食費の半額化を第1子から 2億円
 - 低所得世帯への大学入学準備支援金 5千万円
 - 補聴器補助制度の創設 5千万円
 - 会計年度任用職員への期末手当補填 2千万円
 - 中小事業者への支援金支給 4千5百万円
- 他

コロナ禍によって影響を受けた区民、事業者に直接届く支援が求められています。コロナ禍においても、特別区税、特別区交付金が大幅な増収となり、当初予算としては過去最大規模です。その財政対応力にふさわしく、更なる支援を行うことが必要です。また、今年度末の財政調整基金残高は、当初予算時の見込みより、60億円以上に残高が増え、170億円余と昨年度とほぼ横ばいです。これまでの財調基金の推移をみれば、組み換え提案の更なる20億円の活用は十分可能です。またまちづくり基金についても、21年度、当初予算での積み立ては見送り、年度末の最終補正により積み立てられています。こうした考え方で、新年度予算についても、まずは、区民の暮らし支援を最優先に活用すべきです。